

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ブルーメひめじ 児童発達支援			
○保護者評価実施期間	令和7年12月10日 ~			令和8年 1月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 10日 ~			令和8年1月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 23日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者に向き合い個性を尊重しながら人間関係を円滑に図るために基本的なあいさつ、人間形成の支援。	節目節目でのあいさつを基本としトラブル発生時の聞き取りをする中での公平性をもとにした納得するまでの支援。	事業所内での人間関係の育成を図りながら対外的な買い物など実生活に沿った社会生活場面の経験を体験しながら取り組んでいく。
2	5領域 健康・生活 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性 を図れるよう支援いたします。	事業所の過ごしやすい環境設定の充実を図りながら日々の活動の充実、改善を行います。また清掃・消毒を取り組みながら手洗いマスクなどの取り組みを実施していく。	
3	本人の思いを中心とし家族からの要望を聞き取り課題解決へ向けて取り組みを進める。	家族への面談を積極的に行い課題解決の相談支援を行います。	講演会、ペアレント・トレーニング講座の実施

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域支援・地域連携をはかるための関係機関との連携が不十分である。	相談支援事業所との連携は取り組めているが課題解決に向けての関係機関との連携の具体的必要性がでてくるなどの課題があれば取り組んでいく。地域住民との連携を図ります。	行事企画への地域住民の参加を取り組みます。 講演会・ペアレント・トレーニング講座の準備を行い参加者との交流を図ります。
2	対外的な研修への参加。	出来るだけ従業者からの要望は取り入れ研修に参加しているが必要人員等の確保もあり変更する場合もある。	対外的な情報収集を行う。行政からの情報提供などを掲示するなどし参加しやすい環境を作る。
3	安全衛生、虐待防止、身体拘束、業務継続計画など計画や会議は実施しているが内容の充実及び保護者・従業者への浸透徹底が不十分である。	内容文言が一人一人に浸透できておらず評価表に反する意見が出ることなどあるので周知を行いたい。	定期的な周知の実施と内容の改善を行う。 ブルーメひめじからの保護者へ向けた広報を行う。

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		事業所名 ブルーメひめじ 児童発達支援							公表日	令和 8年 2月 2日		
					利用児童数			令和8年 1月 1日 現在9名		回収数 8名		
環境・体制整備	1	チェック項目 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		はい 7	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 1	ご意見		ご意見を踏まえた対応 パリアフリーではないのですが、活用しやすいよう工夫しながら取り組んでいます。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		8								
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、パリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		8						パリアフリーではないのですが、活用しやすいよう工夫しながら取り組んでいます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		8				家にいるようないつもと同じ雰囲気でよい。		家庭的な雰囲気を大切にしています。		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		8								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		8								
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		8								
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。		8								
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。		8								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		8								
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。		3			5	1年未満であるため実施されているのか わからない		なかなか他事業所との交流はないですが公園で交流の機会があるので交流できるよう努めます。		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		8								
保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		8								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		7			1	1年未満であるため実施されているのか わからない		実施していますので次回実施の時には案内いたします。		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。		8								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		8				連絡帳や面談などで、細かく丁寧に説明がありこちらの様子と重ねてお話ししていただけます。		面談などの時間が取れない方もおられるので送迎時などの短時間でも情報の共有に務めます。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		8								
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		8				案内があり参加できなかったが、今後は参加したい。		出来るだけ参加者が多い日程の調整をするなど調整いたします。		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		8								

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8			ラインで連絡が取れるのでありがとうございます。	ホームページなど出来るだけ見やすくわかりやすいように改善いたします。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7		1			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6		2	1年未満であるため実施されているのかわからない	8月、9月に実施していますので連絡帳で報告いたします。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			現時点でのそのようなことがない。	子ども同士でのトラブルがありますがケガに至ることは少なく事象があればその都度伝えます。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8					
	29	事業所の支援に満足していますか。	8					

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ブルーメひめじ 児童発達支援				公表日	令和8年 2月 2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4				
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1		区切られた空間はあるがクールタウンや体調不良時に過ごせる部屋があるとよい、安心して過ごせる場所が良い	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		今後取り組む予定	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4				
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1			

援の提供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	出来るだけ勤務者が参加できるよう工夫している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。				
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		今後行う予定
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	地域の公園での交流はできている。	今後行う予定
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		自立支援協議会への参加はできていない
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	定期的に面談の機会を設定している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	1		次年度へ向けて準備していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		何か変化がある場合すぐに対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		医師の指示はないが保護者からの情報で対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			